

新

様式第1号 (第5条関係)

工事成績評定調書()

所属名:

工事番号	受注者	格付					工事種別	着工年月日																							
		設計額						完成年月日																							
		請負額						検査年月日																							
検査項目		監督員					主任監督員					担当課長					検査職員														
項目	細別	氏名					氏名					氏名					氏名														
		a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e						
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10.0																									
	II. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10.0																									
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0													+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0						
	II. 工程管理						+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0	+2.0		+1.0		0	-7.5	-15.0													
	III. 安全対策						+5.0	+2.5	0	-5.0	-10.0	+3.0		+1.5		0	-7.5	-15.0													
	IV. 対外関係						+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0																				
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形						+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0								+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0						
	II. 品質						+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0								+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0						
	III. 出来ばえ																		+5.0		+2.5		0	-5.0							
4. 工事特性	I. 施工条件への対応※2																														
5. 創意工夫	I. 創意工夫※3																														
6. 社会性等	I. 地域への貢献等																														
加減点合計(1+2+3+4+5+6)		(A) 点					(B) 点					(C) 点					(D) 点														
評定点(65点+加減点合計)※1		①65点+(A)+(B)= 点					②65点+(C)= 点					③65点+(D)= 点																			
評定点計		点 (①×0.4+②×0.2+③×0.4)= 評定点計																													
7. 法令遵守等 ※7																	減点評価										点				
評定点合計 ※8		点															○評定点計 - 法令遵守等(減点評価) = 点														
所見 ※5		【監督員】					【主任監督員】					【担当課長】					【検査職員】														

※1 65点+「1.」~「3.」の評定(加減点合計)+「4.」~「6.」の評定(加点合計)=評定点
各評定点(①~③)は小数第1位まで記入する。
 ※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。
 評価に際しては、監督員、主任監督員からの報告を受けて担当課長が評価するものとする。
 ※3 創意工夫は、工事特性のような難度を伴わない工事において、企業の工夫やノウハウにより特質すべき便益があった場合に評価する項目である。
 ※4 「4」、「5」、「6」は加点評価のみとする。また、法令遵守等は、減点評価のみとする。
 ※5 所見は減点項目があった場合に記載する。
 ※6 各検査項目ごとの採点は、検査項目別運用表によるものとし、検査職員(完成)の評価に先立ち、監督員、主任監督員、担当課長が行う。
 ※7 法令遵守の評価は、担当課長が行う。
 ※8 評定点合計は、四捨五入により整数とする。

旧

様式第1号 (第5条関係)

工事成績評定調書()

所属名:

工事番号	受注者					工事種別	着工年月日																			
工事名	主任(監理)技術者					設計額	完成年月日																			
工事場所	現場代理人					請負額	検査年月日																			
検査項目		監督員					主任監督員					担当課長					検査職員									
		氏名 印					氏名 印					氏名 印					氏名 印									
項目	細別	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10.0																				
	II. 配置技術者	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0																				
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0													+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0	
	II. 工程管理						+2.0	+1.0	0	-5.0	-10.0	+10.0		+5.0		0	-7.5	-15.0								
	III. 安全対策						+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0	+12.0		+6.0		0	-7.5	-15.0								
	IV. 対外関係						+3.0	+1.5	0	-2.5	-5.0															
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形						+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0								+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0	
	II. 品質						+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0								+12.0	+9.0	+6.0	+3.0	0	-12.5	-25.0	
	III. 出来ばえ																		+8.0		+4.0		0	-5.0		
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応※2											+5.0 ~ 0														
5. 創意工夫	I. 創意工夫※3						+5.0 ~ 0																			
6. 社会性等	I. 地域への貢献等											+8.0	+6.0	+4.0	+2.0	0										
加減点合計(1+2+3+4+5+6)		(A) 点					(B) 点					(C) 点					(D) 点									
評定点(65点+加減点合計)※1		①65点+(A)+(B)= 点					②65点+(C)= 点					③65点+(D)= 点														
7. 評定点計		点 【(①×0.4+②×0.2+③×0.4)=評定点計】																								
8. 法令遵守等 ※7		点																								
9. 評定点合計 ※8		点 【7.評定点計+8.法令遵守等】																								
所見 ※5		【監督員】					【主任監督員】					【担当課長】					【検査職員】									

※1 65点+「1.」~「3.」の評定(加減点合計)+「4.」~「6.」の評定(加減点合計)=評定点

各評定点(①~③)は小数第1位まで記入する。

※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。評価に際しては、監督員、主任監督員からの報告を受けて担当課長が評価するものとする。

※3 創意工夫は、工事特性のような難度を伴わない工事において、企業の工夫やノウハウにより特質すべき便益があった場合に評価する項目である。

※4 「4」、「5」、「6」は加減点のみとする。また、法令遵守等は、減点評価のみとする。

※5 所見は減点項目があった場合に記載する。

※6 各検査項目ごとの採点は、検査項目別運用表によるものとし、検査職員(完成)の評価に先立ち、監督員、主任監督員、担当課長が行う。

※7 法令遵守の評価は、担当課長が行う。

※8 評定点合計は、四捨五入により整数とする。